

しつかりとつなげ春闘方針会議

第6回中央委員会

2月15日、SKホールにて、第6回中央委員会が開催されました。第5回中央委員会で提案し、職場討議を行つた「2016年度春闘期を中心とした当面の闘争方針」ならびに「自治研活動に關わる当面の方針」を満場一致で確認しました。

2016年度の新規採用を5区と一组で勝ち取っています。この勢いを止めることなく次の闘いに入ります。方針に基づき、全組合員の総力を取組みを進めましょう。

「2016年度春闘期を中心とした当面の闘争方針」は、民間の春闘に連帶取組みを提起しています。これで、成績を我々の秋季賃金確定闘争に繋げることはもちろん、この間低下しても

2月15日、SKホールにて、第6回中央委員会が開催されました。第5回中央委員会で提案し、職場討議を行つた「2016年度春闘期を中心とした当面の闘争方針」ならびに「自治研活動に關わる当面の方針」を満場一致で確認しました。

「16年春・5区・一组で新規採用を勝ち取る」



▲中里副委員長から自治研方針を提案



掃除組合
東京労働千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
1部20円
編集責任司
企画・総務司
藤井齊

わが組合の綱領

一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都政の徹底的民主化を期す。
三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界和平に貢献せんことを期す。

改憲と労働法制の破壊を阻止 参院選「えさきたかし」の必勝を確立

また、今期から各区・一组担当中央執行委員が交渉に専念する体制としました。が、とりわけ予算・人員要請闘争を当局の予算編成スケジュールに連れることなく進めること、そしてしっかりと総括を行い、次年度の闘いに繋げることなどを具体的に方針化しています。総括のない方針はありません。各支部とも3月中旬までには総括をし、各地連討論集会で共有化し、2017年度の闘いに活かしましょう。

そして、労働法制の破壊、戦争のできる国作り、自治サージェスの産業化など、労働者と家族の生きる権利を奪おうとする安倍政権との闘いを強化するため労働講座を開催し、全体で情勢を共有化します。7月10月8日に開催した、「区内に常任中央執行委員が支部運営に関する悩みなどをついても、専従役員を中心とした当面の闘争方針」は、民間の春闘に連帶取組みを提起しています。

統一的な闘い方についても、労組内候補「えさきたかし」の再選を何としても業に関する率直な意見をいいます。

また、電話での相談も含めます。

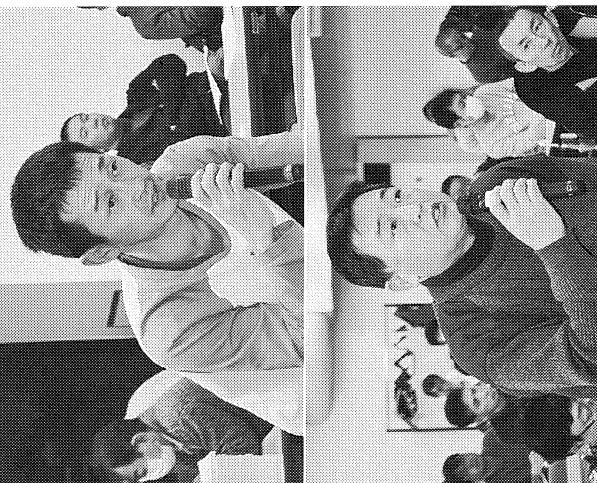
区民から必要とされる存在になるために

第83回定期大会で確立した「良質な公共サービス」としての清掃事業を守る方針に基づき、この間、DVを作成し、区民、議員V-Dを作成し、区民、議員

たたこどがきました。金・労働条件にしか取組まらない労働組合と共に感じてくられる区民はいません。区民と協力しながら4月中に各区で集会を開催することを目標に取組みます。成

専従役員の積極的な活用を

春闘期の闘い、自治研のめ、専従役員を積極的に活用してください。労働者が安心して働き、健康に生活することができなければ社会の安全さえも保てない。労働条件を向上させることは市民の命を守ることにも繋がっているのです。



▲山崎議員(北西部)

▲山崎議員(練馬工場支部)

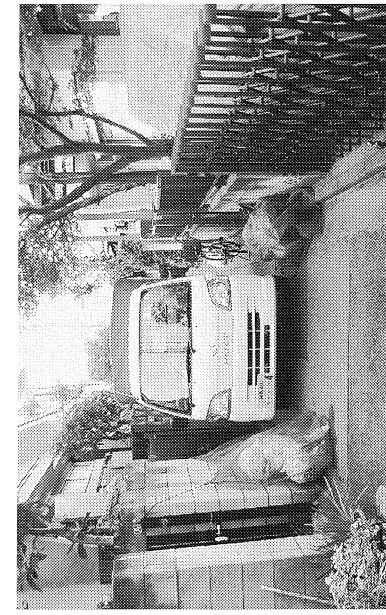
春闘方針・自治研方針に基づく 当面の日程

- | | |
|--|--|
| 各地春闘討議会 | (3月中に開催)
(演題は全て仮) |
| ①3月18日(金)
「労働法制破壊と労働組合の課題」
指宿昭一弁護士 | ②3月23日(水)
「国会情勢報告・労働組合が政治闘争を取組む意義」
えさきたかし参議院議員 |
| ③3月30日(水)
「自治体現業労働運動の課題」
小池敏宏自治労現業局長 | ④第53回自治研集会
5月29日(日)~30日(月) |
| ⑤第41回組織集会
7月17日(日) | |



1955年総労働組合市田三義助、79年佐々木大輔社会主義者、84年吉田義和、85年吉田義和、86年吉田義和、87年吉田義和、88年吉田義和、89年吉田義和、90年吉田義和、91年吉田義和、92年吉田義和、93年吉田義和、94年吉田義和、95年吉田義和、96年吉田義和、97年吉田義和、98年吉田義和、99年吉田義和、2000年吉田義和、2001年吉田義和、2002年吉田義和、2003年吉田義和、2004年吉田義和、2005年吉田義和、2006年吉田義和、2007年吉田義和、2008年吉田義和、2009年吉田義和、2010年吉田義和、2011年吉田義和、2012年吉田義和、2013年吉田義和、2014年吉田義和、2015年吉田義和、2016年吉田義和、2017年吉田義和、2018年吉田義和、2019年吉田義和、2020年吉田義和、2021年吉田義和、2022年吉田義和、2023年吉田義和、2024年吉田義和、2025年吉田義和、2026年吉田義和、2027年吉田義和、2028年吉田義和、2029年吉田義和、2030年吉田義和、2031年吉田義和、2032年吉田義和、2033年吉田義和、2034年吉田義和、2035年吉田義和、2036年吉田義和、2037年吉田義和、2038年吉田義和、2039年吉田義和、2040年吉田義和、2041年吉田義和、2042年吉田義和、2043年吉田義和、2044年吉田義和、2045年吉田義和、2046年吉田義和、2047年吉田義和、2048年吉田義和、2049年吉田義和、2050年吉田義和、2051年吉田義和、2052年吉田義和、2053年吉田義和、2054年吉田義和、2055年吉田義和、2056年吉田義和、2057年吉田義和、2058年吉田義和、2059年吉田義和、2060年吉田義和、2061年吉田義和、2062年吉田義和、2063年吉田義和、2064年吉田義和、2065年吉田義和、2066年吉田義和、2067年吉田義和、2068年吉田義和、2069年吉田義和、2070年吉田義和、2071年吉田義和、2072年吉田義和、2073年吉田義和、2074年吉田義和、2075年吉田義和、2076年吉田義和、2077年吉田義和、2078年吉田義和、2079年吉田義和、2080年吉田義和、2081年吉田義和、2082年吉田義和、2083年吉田義和、2084年吉田義和、2085年吉田義和、2086年吉田義和、2087年吉田義和、2088年吉田義和、2089年吉田義和、2090年吉田義和、2091年吉田義和、2092年吉田義和、2093年吉田義和、2094年吉田義和、2095年吉田義和、2096年吉田義和、2097年吉田義和、2098年吉田義和、2099年吉田義和、2000年吉田義和、2001年吉田義和、2002年吉田義和、2003年吉田義和、2004年吉田義和、2005年吉田義和、2006年吉田義和、2007年吉田義和、2008年吉田義和、2009年吉田義和、2010年吉田義和、2011年吉田義和、2012年吉田義和、2013年吉田義和、2014年吉田義和、2015年吉田義和、2016年吉田義和、2017年吉田義和、2018年吉田義和、2019年吉田義和、2020年吉田義和、2021年吉田義和、2022年吉田義和、2023年吉田義和、2024年吉田義和、2025年吉田義和、2026年吉田義和、2027年吉田義和、2028年吉田義和、2029年吉田義和、2030年吉田義和、2031年吉田義和、2032年吉田義和、2033年吉田義和、2034年吉田義和、2035年吉田義和、2036年吉田義和、2037年吉田義和、2038年吉田義和、2039年吉田義和、2040年吉田義和、2041年吉田義和、2042年吉田義和、2043年吉田義和、2044年吉田義和、2045年吉田義和、2046年吉田義和、2047年吉田義和、2048年吉田義和、2049年吉田義和、2050年吉田義和、2051年吉田義和、2052年吉田義和、2053年吉田義和、2054年吉田義和、2055年吉田義和、2056年吉田義和、2057年吉田義和、2058年吉田義和、2059年吉田義和、2060年吉田義和、2061年吉田義和、2062年吉田義和、2063年吉田義和、2064年吉田義和、2065年吉田義和、2066年吉田義和、2067年吉田義和、2068年吉田義和、2069年吉田義和、2070年吉田義和、2071年吉田義和、2072年吉田義和、2073年吉田義和、2074年吉田義和、2075年吉田義和、2076年吉田義和、2077年吉田義和、2078年吉田義和、2079年吉田義和、2080年吉田義和、2081年吉田義和、2082年吉田義和、2083年吉田義和、2084年吉田義和、2085年吉田義和、2086年吉田義和、2087年吉田義和、2088年吉田義和、2089年吉田義和、2090年吉田義和、2091年吉田義和、2092年吉田義和、2093年吉田義和、2094年吉田義和、2095年吉田義和、2096年吉田義和、2097年吉田義和、2098年吉田義和、2099年吉田義和、2000年吉田義和、2001年吉田義和、2002年吉田義和、2003年吉田義和、2004年吉田義和、2005年吉田義和、2006年吉田義和、2007年吉田義和、2008年吉田義和、2009年吉田義和、2010年吉田義和、2011年吉田義和、2012年吉田義和、2013年吉田義和、2014年吉田義和、2015年吉田義和、2016年吉田義和、2017年吉田義和、2018年吉田義和、2019年吉田義和、2020年吉田義和、2021年吉田義和、2022年吉田義和、2023年吉田義和、2024年吉田義和、2025年吉田義和、2026年吉田義和、2027年吉田義和、2028年吉田義和、2029年吉田義和、2030年吉田義和、2031年吉田義和、2032年吉田義和、2033年吉田義和、2034年吉田義和、2035年吉田義和、2036年吉田義和、2037年吉田義和、2038年吉田義和、2039年吉田義和、2040年吉田義和、2041年吉田義和、2042年吉田義和、2043年吉田義和、2044年吉田義和、2045年吉田義和、2046年吉田義和、2047年吉田義和、2048年吉田義和、2049年吉田義和、2050年吉田義和、2051年吉田義和、2052年吉田義和、2053年吉田義和、2054年吉田義和、2055年吉田義和、2056年吉田義和、2057年吉田義和、2058年吉田義和、2059年吉田義和、2060年吉田義和、2061年吉田義和、2062年吉田義和、2063年吉田義和、2064年吉田義和、2065年吉田義和、2066年吉田義和、2067年吉田義和、2068年吉田義和、2069年吉田義和、2070年吉田義和、2071年吉田義和、2072年吉田義和、2073年吉田義和、2074年吉田義和、2075年吉田義和、2076年吉田義和、2077年吉田義和、2078年吉田義和、2079年吉田義和、2080年吉田義和、2081年吉田義和、2082年吉田義和、2083年吉田義和、2084年吉田義和、2085年吉田義和、2086年吉田義和、2087年吉田義和、2088年吉田義和、2089年吉田義和、2090年吉田義和、2091年吉田義和、2092年吉田義和、2093年吉田義和、2094年吉田義和、2095年吉田義和、2096年吉田義和、2097年吉田義和、2098年吉田義和、2099年吉田義和、2000年吉田義和、2001年吉田義和、2002年吉田義和、2003年吉田義和、2004年吉田義和、2005年吉田義和、2006年吉田義和、2007年吉田義和、2008年吉田義和、2009年吉田義和、2010年吉田義和、2011年吉田義和、2012年吉田義和、2013年吉田義和、2014年吉田義和、2015年吉田義和、2016年吉田義和、2017年吉田義和、2018年吉田義和、2019年吉田義和、2020年吉田義和、2021年吉田義和、2022年吉田義和、2023年吉田義和、2024年吉田義和、2025年吉田義和、2026年吉田義和、2027年吉田義和、2028年吉田義和、2029年吉田義和、2030年吉田義和、2031年吉田義和、2032年吉田義和、2033年吉田義和、2034年吉田義和、2035年吉田義和、2036年吉田義和、2037年吉田義和、2038年吉田義和、2039年吉田義和、2040年吉田義和、2041年吉田義和、2042年吉田義和、2043年吉田義和、2044年吉田義和、2045年吉田義和、2046年吉田義和、2047年吉田義和、2048年吉田義和、2049年吉田義和、2050年吉田義和、2051年吉田義和、2052年吉田義和、2053年吉田義和、2054年吉田義和、2055年吉田義和、2056年吉田義和、2057年吉田義和、2058年吉田義和、2059年吉田義和、2060年吉田義和、2061年吉田義和、2062年吉田義和、2063年吉田義和、2064年吉田義和、2065年吉田義和、2066年吉田義和、2067年吉田義和、2068年吉田義和、2069年吉田義和、2070年吉田義和、2071年吉田義和、2072年吉田義和、2073年吉田義和、2074年吉田義和、2075年吉田義和、2076年吉田義和、2077年吉田義和、2078年吉田義和、2079年吉田義和、2080年吉田義和、2081年吉田義和、2082年吉田義和、2083年吉田義和、2084年吉田義和、2085年吉田義和、2086年吉田義和、2087年吉田義和、2088年吉田義和、2089年吉田義和、2090年吉田義和、2091年吉田義和、2092年吉田義和、2093年吉田義和、2094年吉田義和、2095年吉田義和、2096年吉田義和、2097年吉田義和、2098年吉田義和、2099年吉田義和、2000年吉田義和、2001年吉田義和、2002年吉田義和、2003年吉田義和、2004年吉田義和、2005年吉田義和、2006年吉田義和、2007年吉田義和、2008年吉田義和、2009年吉田義和、2010年吉田義和、2011年吉田義和、2012年吉田義和、2013年吉田義和、2014年吉田義和、2015年吉田義和、2016年吉田義和、2017年吉田義和、2018年吉田義和、2019年吉田義和、2020年吉田義和、2021年吉田義和、2022年吉田義和、2023年吉田義和、2024年吉田義和、2025年吉田義和、2026年吉田義和、2027年吉田義和、2028年吉田義和、2029年吉田義和、2030年吉田義和、2031年吉田義和、2032年吉田義和、2033年吉田義和、2034年吉田義和、2035年吉田義和、2036年吉田義和、2037年吉田義和、2038年吉田義和、2039年吉田義和、2040年吉田義和、2041年吉田義和、2042年吉田義和、2043年吉田義和、2044年吉田義和、2045年吉田義和、2046年吉田義和、2047年吉田義和、2048年吉田義和、2049年吉田義和、2050年吉田義和、2051年吉田義和、2052年吉田義和、2053年吉田義和、2054年吉田義和、2055年吉田義和、2056年吉田義和、2057年吉田義和、2058年吉田義和、2059年吉田義和、2060年吉田義和、2061年吉田義和、2062年吉田義和、2063年吉田義和、2064年吉田義和、2065年吉田義和、2066年吉田義和、2067年吉田義和、2068年吉田義和、2069年吉田義和、2070年吉田義和、2071年吉田義和、2072年吉田義和、2073年吉田義和、2074年吉田義和、2075年吉田義和、2076年吉田義和、2077年吉田義和、2078年吉田義和、2079年吉田義和、2080年吉田義和、2081年吉田義和、2082年吉田義和、2083年吉田義和、2084年吉田義和、2085年吉田義和、2086年吉田義和、2087年吉田義和、2088年吉田義和、2089年吉田義和、2090年吉田義和、2091年吉田義和、2092年吉田

交渉力・現場力・団結力で新規採用 狭小路地は徒歩で運び出し収集



▲狭小路地は狭小でもごみを踏んでしまう。



▲徒歩で運び出し、きれいな街並みを維持

No.13
**いま
清掃事業は...
▶▶▶文京区**

文京支部は、本所(作業)・分室(作業)・播磨坂事業所(運転)の3所で執行され、組合員数は一般組合員100名と再任用組合員9名で組織されています。2015年度作業計画についてはここ数年ごみ排出量の傾向から、週前半計画・週後半計画・5週目計画(不燃収集が無い)の3つの計画となっています。

週前半計画の稼動台数は小P17組(直営15台)、小特W5組、軽小7組、ふれあい班2組体制で業務にあたっています。

平成27年に文京区の人口は21万人を超えており、それに伴い多くの集合住宅等の建設がされています。人口の増加に反比例してごみは微減していますが、集積所箇所数は年間で約250箇所以上増加しています。サーマル導入以降可燃ごみの体積が増え集積所が大きくなり通行の妨げになつたこと、また住民の高齢化に伴い集積所の管理が困難になつた等が大きい要因と考えられています。

このことから、集積所の新規・分散戸別収集が進んでいます。狭小路地(文京区担当中央執行委員 渡辺一彦)

での分散等は特に問題であり、ステーション収集が基本の考え方しながらも戸別での対応をしらされています。軽小でも入れない現場が多く、徒步にて運び出しを行わなければならず、今後更に増加する見込みから機材要求の強化を重点課題として取組んでいます。

人員については、週のことと2年前(2009年1月)、当局は人員ありきの作業計画を提案してきました。我々は当局に対し白紙撤回を求め、同年2月に当日出勤者している全組合員による要請行動を開催し、「可燃と不燃は直営で行う」とした考えを当局から出されました。

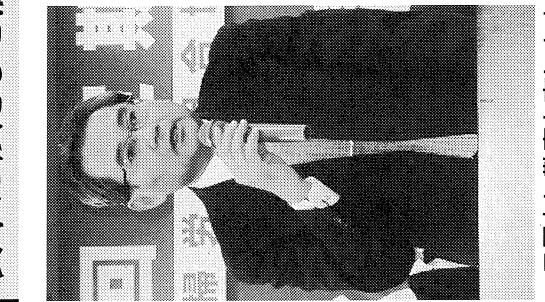
そして交渉力・現場力・団結力を高め闘った結果、新しい仲間を迎えることができました。支部組合員が誰一人、何かひとつ欠けていても、なし得ることはありませんでした。

今後、様々な問題課題が押し寄せるとしても、退職する際この職場でこの仕事でこの仲間と会えて良かったと思えた等が大きな要因と考えられています。

このことから、集積所の新規・分散戸別収集が進んでいます。狭小路地(文京区担当中央執行委員 渡辺一彦)

長年にわたるご活躍に心から感謝申し上げます

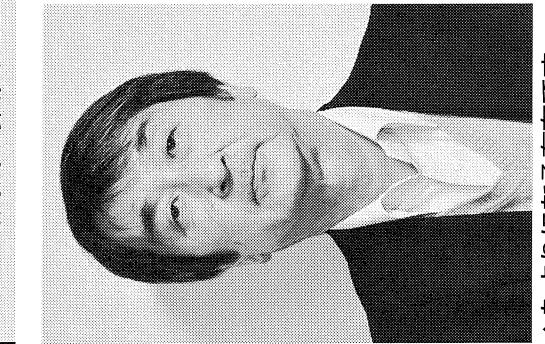
退任 都市清掃 吉田 善 議長
2月18日～20日にかけて、都市清掃労働組合協議会第71回定期大会が開催されました。今大会をもって、全国の清掃労働者の先頭に立つてご尽力された吉田善議長(大阪)が議長の任から退かれました。吉田前議長から受けたバトンを一步ずつ前に進めていきます。



▲ご尽力に敬意を表します

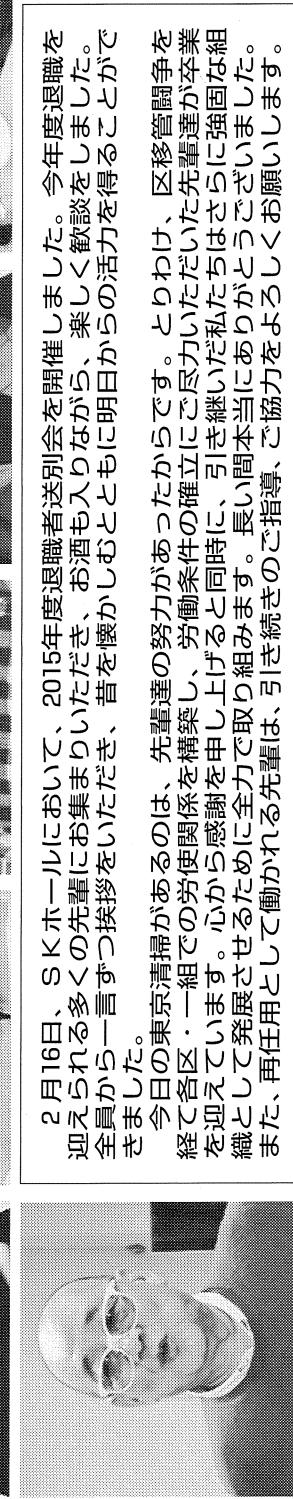
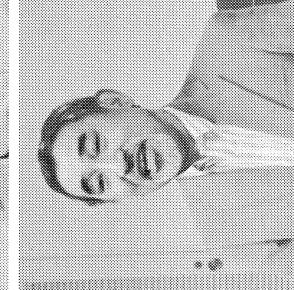
元三鷹市職労のオルゲ書記など経験豊富な方

新任 新書記 森谷 浩司さん
新たな書記として森谷浩司さんが本部事務局に加わりました。城森谷浩司さんが本部事務局に加わりました。城森谷浩司さんからひとことで「この度、東京清掃労働組合に書記としてお世話になります、森谷浩司と申します。わたくしは、闘争北見闘争団を経て、三鷹市職労のオル



▲たよりになる存在です

「2015年度」退職者送別会 長い間本当にありがとうございました



2月16日、SKKホールにおいて、2015年度退職者送別会を開催しました。今年度退職を迎えられた多くの先輩にお集まりいただき、お酒も入りながら、昔を懐かしく懇談を得ることができました。今日の東京清掃があるのは、先輩達の努力があつたからです。とりわけ、区移管闘争を経て各区・一組での労使関係を構築し、労働条件の確立にご尽力いた先輩たちにはさらに強固な組織を育んでいます。心から感謝を申し上げると同時に、引き継ぎの先輩たちにはさぞうございました。また、再任用として働かれる先輩は、引き続きのご指導、ご協力をよろしくお願いします。